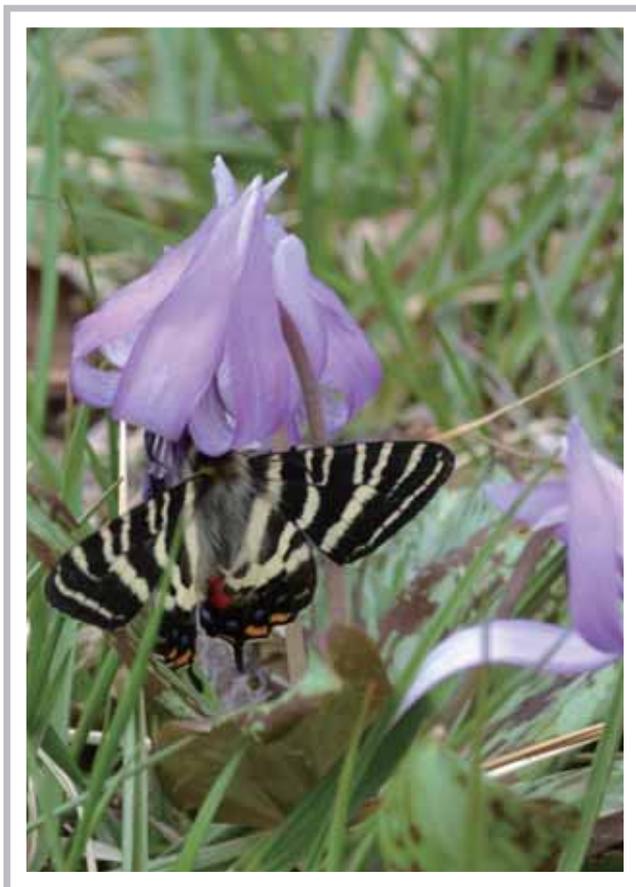


春、妖精と女神が出会うとき

木々の間から春の柔らかな日差しが差し込む草はらで、紅紫色をしたカタクリの花が咲いています。空に向かって伸びた花びらがくるりと反り返り、うつむいて咲く姿は可憐で、「春の妖精」ともいわれています。カタクリは地中からいっせいにつぼみを出し、瞬く間に花を咲かせます。花の時期は約2週間と短く、やがて茎や葉も枯れてしまいます。カタクリは1年の大半を地中で過ごすため、地上に姿を現すおよそ1カ月半から2カ月の間に急いで光合成を行い、次の春に再び花を咲かせる力を球根に蓄えます。

春の妖精たちが集まる場所へ、どこからともなくヒラヒラと訪問者がやってきました。黄色と黒色のだんだら模様と赤色や青色の斑点が鮮やかな「春の女神」、ギフチョウです。このチョウは明治時代に名和靖博士によって現在の下呂市で採集され、その名が付けました。ギフチョウはカタクリの花の蜜を好んで吸います。ほかにもショウジョウバカマやサクラなど、桃色の花を好むようです。

毎早春、妖精と女神との出会いは必ず繰り返されます。自然の営み・仕組み・つながりは、不思議で緻密、見事なものです。私たち人間は、妖精と女神の出会いを邪魔しないよう、優しく見守りましょう。



森	の
日記	バードウォッチング 2月24日(日)

積雪約3cmの寒い朝、雪を踏みしめながら歩くと、キンクロハジロやルリビタキなど16種類の鳥たちの姿や鳴き声、そしてタヌキの足跡を発見しました。思わぬ収穫は、積雪のおかげです。



市内に住むご夫婦から、御嶽山のスケッチとメッセージをハガキで頂きました。「自然の姿が豊富なウォーキングコース！歩くたびに元気を頂いています。(中略) 動植物・鳥類に心がいやされます。新しい発見もたくさんありました。(後略)」

陶史の森の職員は、皆さんがより快適に楽しめるよう、これからも頑張ります。



★「植物銘板」を約150枚増設したほか、「遊歩道のご案内」や「お願い」「注意喚起」などの各種案内板を新設しました。安全に散策をお楽しみください。

教室のご案内

4月

ギフチョウ観察会(自由参加)

4月7日(日) 9:00~11:30

ギフチョウを放し、観察します。

自然教室(自由参加)

4月14日(日) 9:00~11:30

春の草花や木々の花を観察します。

バードウォッチング(自由参加・雨天中止)

4月28日(日) 9:00~11:30

春の野鳥を観察します。

羊の毛刈り 日時は未定です。

5月

『陶史の森』写生会(要申込・雨天中止)

5月3日(金)・4日(土) 9:00~15:00

陶史の森の自然や動植物を絵画にします。

対象は、保育園・幼稚園児、小学生です。

※画用紙、画板は用意します。

バードウォッチング(自由参加・雨天中止)

5月26日(日) 9:00~11:30

春の野鳥を観察します。